

## 第4回福岡空港調査P I有識者委員会

### 議 事 要 旨

【開催日時】平成17年11月18日(金)16:00~18:00

【開催場所】ホテルレガロ福岡「ローズルーム」

【出席者】

(1) 委員 (委員長) 筑波大学社会工学系教授	石田 東生
西日本新聞社特別顧問	杉尾 政博
公認会計士	土井良 延英
弁護士	山本 智子

(2) 福岡空港調査連絡調整会議からの出席者

・福岡空港調査連絡調整会議幹事

国土交通省九州地方整備局港湾空港部長	戸田 和彦
(代理出席:九州地方整備局博多港湾・空港整備事務所長 元野 一生)	
国土交通省大阪航空局飛行場部長	松本 清次
福岡県企画振興部理事兼空港対策局長	西村 典明
福岡市総務企画局理事	田代 政範

【資料】次第、出席者名簿、座席表

資料1 P I実施段階における監視の結果について

資料2 - 1 福岡空港の総合的な調査に係るP I (ステップ1)実施報告書

資料2 - 2 福岡空港の総合的な調査に係るP I (ステップ1)実施報告書(参考資料)

【議事要旨】

(1) 報告事項

P I実施段階における監視の結果について事務局から説明が行われた。

(2) 審議事項

P I実施結果(ステップ1)に関する評価について福岡空港調査連絡調整会議(福岡県西村理事)から説明が行われた。

以下のことについて委員会として確認された。

- ・P I活動は適切なものであったと評価する。
- ・周知広報については継続的な努力を行うこと。
- ・P I実施計画(ステップ1)で挙げた当初の目標を達成したと評価する。
- ・福岡空港について市民等に興味を持ってもらうような手法を検討すること。
- ・県外居住者や外国人などからも意見が収集できるよう検討すること。外国語による情報提供なども検討課題。
- ・女性や若者層に対する情報提供等についても検討を図ること。
- ・様々なコミュニケーションを図ることも大事であり、そのための方法について検討することが

- 必要。また、説明会や懇談会において多様な意見が出るような議事進行等の工夫を行うこと。
- ・「意見とそれに対する考え方」について、効率的なPI実施という視点を踏まえながら、その着実な実施を検討すること。